

基本政策シート

2025年度	(管理番号)			部局名
	分野	基本政策		産業部スタートアップ推進担当
	01	02	01	

分野	基本政策
産業経済	スタートアップ・エコシステムの構築

将来の理想の姿(2044年)

創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

10年後(2034年)の理想の姿

スタートアップが絶え間なく生み出され、成長していくスタートアップ・エコシステムの確立により、社会課題の解決及び地域経済の活性化が図られている。

生活満足度に関する指標(分野指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
経済活動	浜松市の経済活動(市民の消費、企業の生産活動など)は盛んだと感じますか。	2.75	2.72				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

政策体系

政策番号		政策	事業名	担当課名
01	01	革新的な技術やアイデアを有するスタートアップの支援	スタートアップ育成・成長支援事業	スタートアップ推進課
			スタートアップ・エコシステム構築事業	スタートアップ推進課
			スタートアップ誘致事業	スタートアップ推進課
			首都圏ビジネス情報センター事業	スタートアップ推進課
02	01	市内企業とスタートアップとの連携	スタートアップ地域連携事業	スタートアップ推進課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

2025年度の取組の方向性

- ・市内企業の課題やニーズに適したスタートアップとの連携(「市内企業×スタートアップ」)を促進するために実施しているマッチングプラットフォーム「ハマハブ！」において、行政課題の解決を図るスタートアップとの連携(「市×スタートアップ」)を促進する機能を追加するとともに、スタートアップとの実証実験等への伴走及び補助金による支援を実施し、社会課題の解決や産業の振興を図ります。
- ・創業初期のスタートアップに対し専門家による伴走支援等を行う「スタートアップ成長支援事業」のスタートアップ育成プログラムに、海外展開を視野に入れた内容を盛り込み、世界で活躍するスタートアップの創出を目指します。
- ・次世代を担うスタートアップ経営者・トップエンジニアなどの輩出を目指す「次世代スタートアップ育成事業」に参加する市内大学生・高校生等に対し、アイデアやビジョンをビジネスプランに練り上げるための伴走支援などを追加し、若年層における起業家創出を目指します。
- ・認定ベンチャーキャピタル等の投資に協調してスタートアップへ交付金を交付する「ファンドサポート事業」において、引き続き、市内スタートアップの成長を主目的とした資金調達環境の整備を行います。
- ・内閣府から「グローバル拠点都市」として認定を受ける本市が、愛知県・名古屋市と共に組織するCentral Japan Startup Ecosystem Consortiumにおいて主催するグローバルイベント「TechGALA」(テック・ガラ)の第2回に参画し、本市の知名度の向上を図るとともに、本市のスタートアップが大きく成長するよう、海外投資家とのネットワーク構築など海外への事業展開の機会を提供します。

【2025年度の評価】

2025年度の基本政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

- ・市内企業の課題やニーズに適したスタートアップとの連携(「市内企業×スタートアップ」)を促進する浜松地域スタートアップ連携促進事業のマッチングプラットフォーム「ハマハブ！」において、行政課題の解決を図るスタートアップとの連携(「市×スタートアップ」)を促進する機能を追加するとともに、スタートアップとの実証実験等への伴走及び補助金による支援を実施し、社会課題の解決や産業の振興を図りました。
浜松地域スタートアップ連携促進事業に引き続き取り組み、全国のスタートアップと地域企業や浜松市各課との連携を促進し、地域課題の解決や新たなイノベーションの創出を目指します。
- ・創業初期のスタートアップに対し専門家による伴走支援等を行うスタートアップ成長支援事業のスタートアップ育成プログラムに、海外展開を視野に入れた内容を盛り込み、世界で活躍するスタートアップの創出を目指しました。
スタートアップ成長支援事業に引き続き取り組み、スタートアップの育成や成長の加速化を図るとともに、本市での事業機会探索プログラムや交付金による事業着手の支援を新たに実施し、全国・グローバルから優れた経営人材を誘致し、浜松生まれ・浜松育ちのスタートアップの創出を目指します。
- ・次世代スタートアップ育成事業に参加する市内大学生・高校生等に対し、アイデアやビジョンをビジネスプランに練り上げるための伴走支援などを追加し、次世代を担うスタートアップ経営者などの育成を図りました。
次世代スタートアップ育成事業に引き続き取り組み、次世代を担うスタートアップ経営者やアントレプレナーシップに満ちた人材等の育成を目指します。
- ・認定ベンチャーキャピタル等の投資に協調してスタートアップへ交付金を交付するファンドサポート事業において、引き続き、市内スタートアップの成長を主目的とした資金調達環境の整備を行いました。
ファンドサポート事業は廃止し、今後は認定金融機関からの融資と連動して交付金交付と伴走支援を行う「ベンチャーデット活用事業」により、地域におけるスタートアップの資金調達環境の活性化を図ります。
- ・内閣府から「グローバル拠点都市」として認定を受ける本市が、愛知県・名古屋市と共に組織するCentral Japan Startup Ecosystem Consortiumにおいて主催するグローバルイベント「TechGALA」(テック・ガラ)の第2回に参画し、本市の知名度の向上を図るとともに、本市のスタートアップが大きく成長するよう、海外投資家とのネットワーク構築など海外への事業展開の機会を提供しました。
TechGALAに引き続き参画し、本市の知名度の向上を図るとともに、スタートアップの成長を図ります。